

矯風会 講演会

「外国人実習生の現状と 新しい外国人制度」

外国人労働者の数は、この5年間で2倍に増えています。愛知県は東京都について二番目に外国人労働者の多い県になっています。技能実習生の保護法はできましたが、依然として問題が残った状態で、そのほか日本で暮らす外国人の様々な問題が起こっています。外国人の方々と、同じ人間として、市民として、共に生きていくためにも、現状をまず正しく知ることが大切です。

日時：2020年10月17日(土)

午後1時30分～3時

講師：^{くれまつ} 樽松 ^{さいち} 佐一氏



愛労連顧問(愛知県労働組合総連合)、コープあいち職員。

1978年名古屋大学理学部卒業後、コープあいちに就職、現在に至る。

2000年から愛労連事務局長を経て2009年から2018年まで愛労連議長。

2007年のトヨタ下請企業でのベトナム人研修生事件を機に相談を受ける。

著書：「トヨタの足元で」(2008年風媒社)「外国人実習生ガイド」(2010年かもがわ出版)

「ニッポン再暗黒労働事情外国人実習生「SNS相談室」より」(2017年風媒社)

会場：日本キリスト教団 **名古屋中央教会** (1階マナホール)

名古屋市東区久屋町8-6(地下鉄 東山線・名城線「栄」駅5番出口出ですぐ)

参加費：300円

主催：公益財団法人 日本キリスト教婦人矯風会

2020年、矯風会は創立134周年を迎えます <http://kyofukai.jp/>

連絡先 矯風会名古屋グループ 柴川

(080-5233-9292)